

3 日常生活について

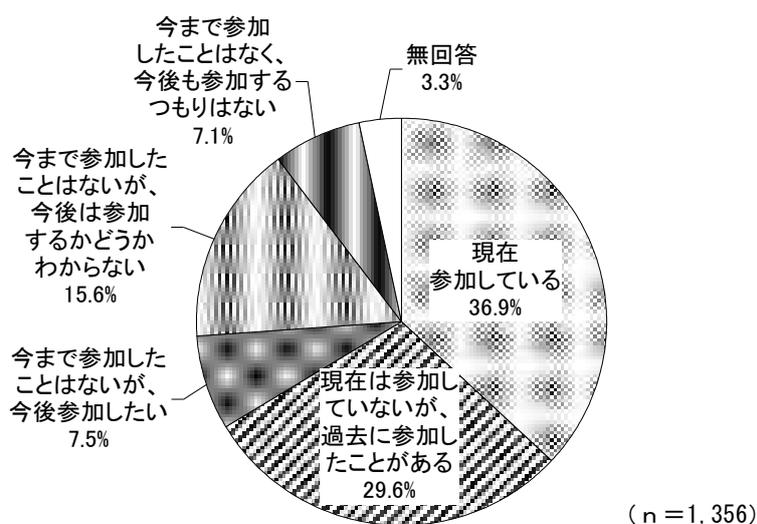
(1) 社会貢献活動について

問6 あなたは、社会貢献活動（※）に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

※ 社会貢献活動とは、例えば、募金、寄附、プルタブ、エコキャップなどの物品収集や公園清掃などの活動、ボランティアやNPO（特定非営利活動団体）活動、コミュニティ活動、自治会、育成会等の地域活動などをいいます。

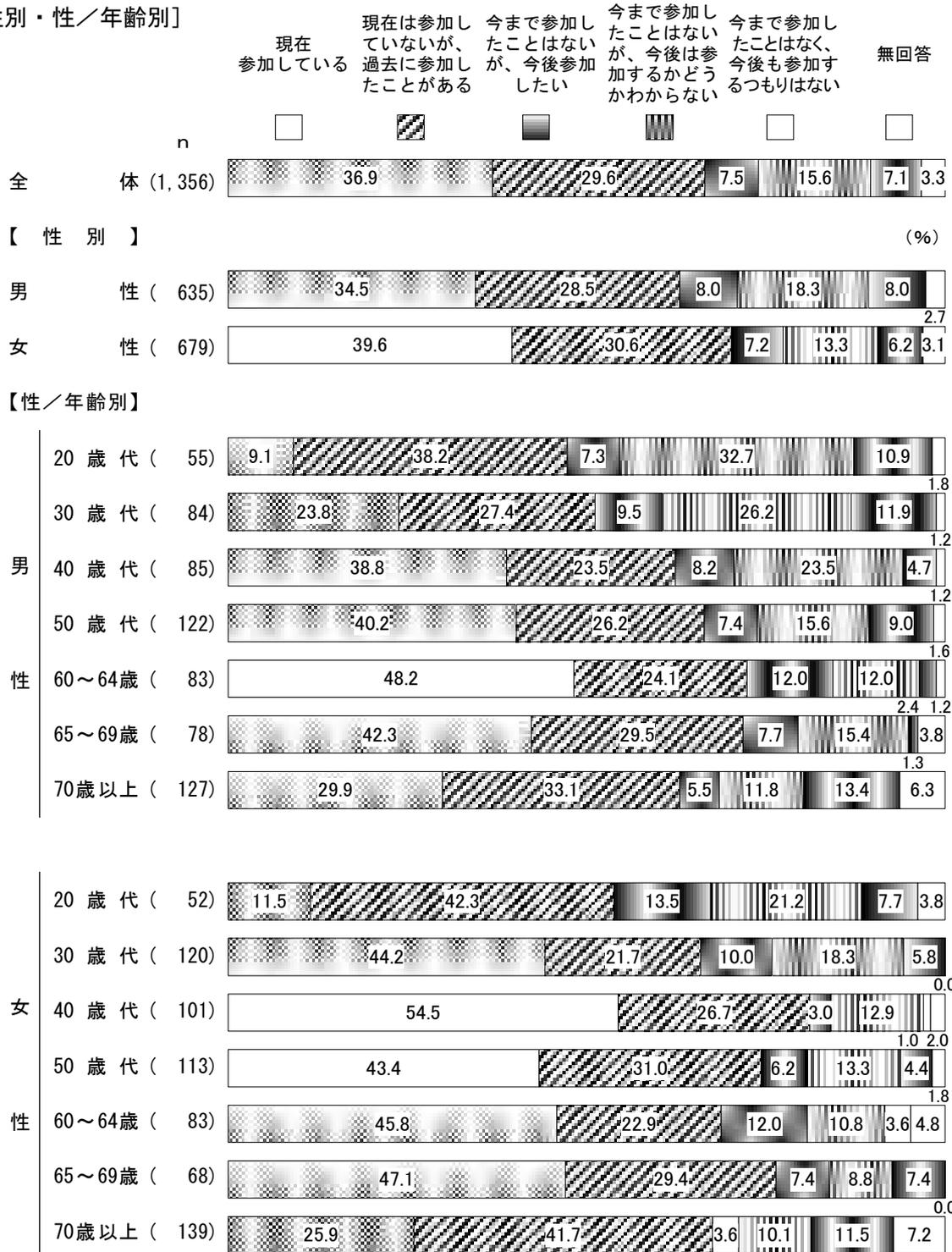
[n=1,356]

1 現在参加している	36.9%
2 現在は参加していないが、過去に参加したことがある	29.6
3 今まで参加したことはないが、今後参加したい	7.5
4 今まで参加したことはないが、今後は参加するかどうかわからない	15.6
5 今まで参加したことはなく、今後も参加するつもりはない	7.1
(無回答)	3.3



全体でみると、「現在参加している」(36.9%)は4割近くと最も高く、次いで「現在は参加していないが、過去に参加したことがある」(29.6%)、「今まで参加したことはないが、今後は参加するかどうかわからない」(15.6%)、「今まで参加したことはないが、今後参加したい」(7.5%)、「今まで参加したことはなく、今後も参加するつもりはない」(7.1%)の順となっている。

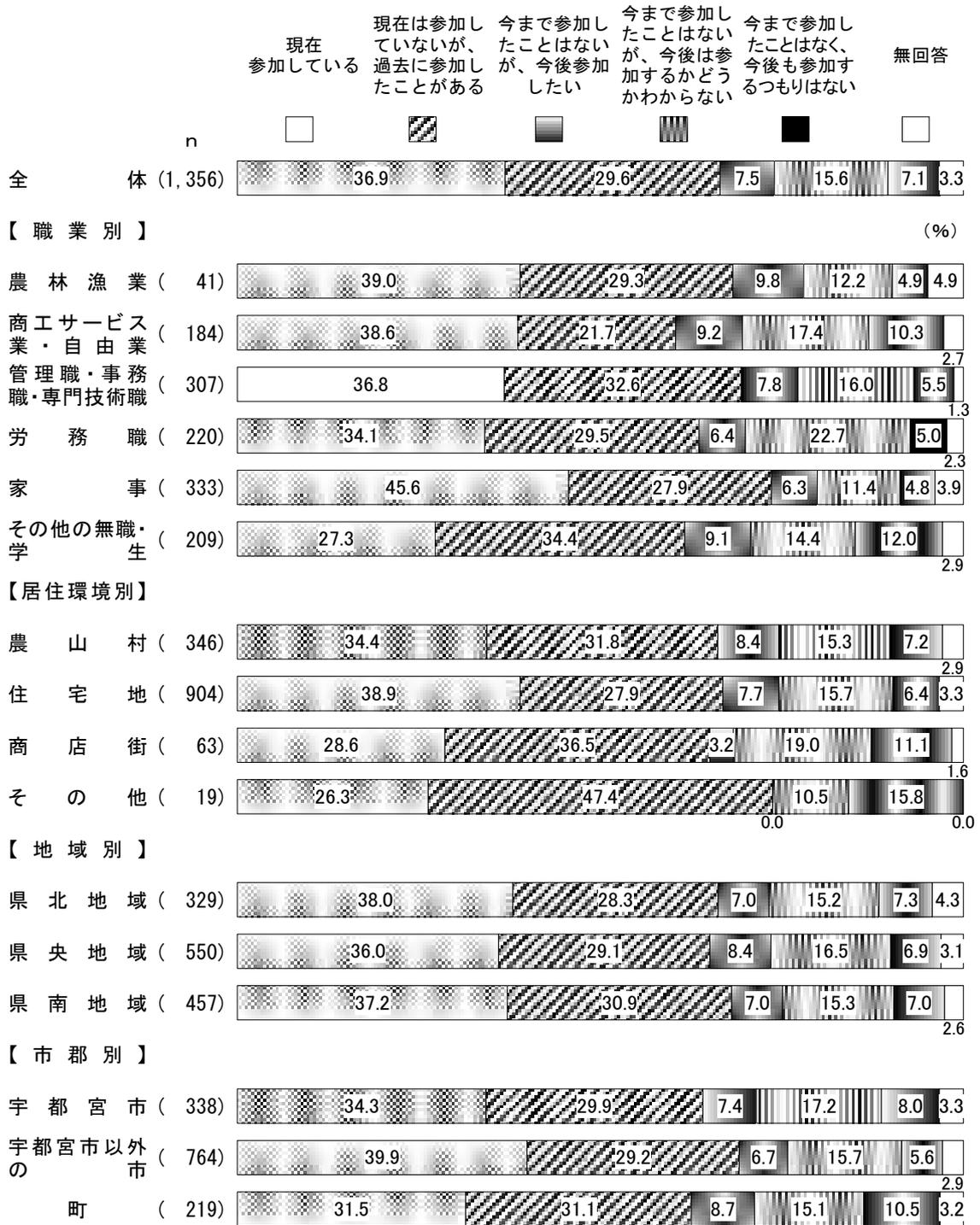
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「現在参加している」では〈女性〉(39.6%)が〈男性〉(34.5%)より5.1ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「現在参加している」では〈女性 40歳代〉(54.5%)が5割半ば、〈男性 60~64歳〉(48.2%)が5割近くと高くなっている。一方、〈男性 20歳代〉(9.1%)と〈女性 20歳代〉(11.5%)は1割前後となっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「現在参加している」では〈家事〉(45.6%)が4割半ばと高くなっている。

居住環境別でみると、「現在参加している」では〈住宅地〉が38.9%と高くなっている。

地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

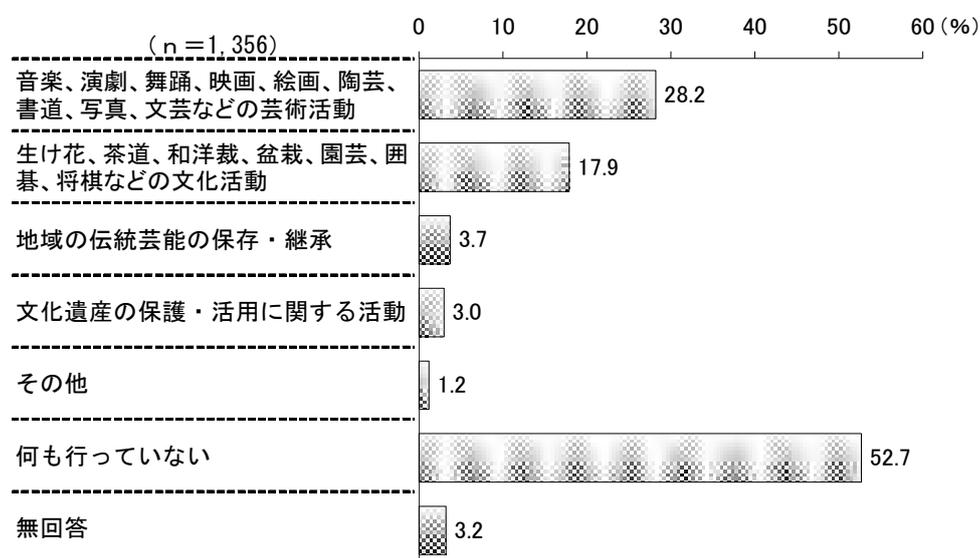
市郡別でみると、「現在参加している」では〈宇都宮市以外の市〉が39.9%となっている。一方、〈町〉が31.5%となっている。

(2) 芸術・文化活動について

問7 あなたが日ごろ行っている芸術・文化活動は、どのようなものですか。
次の中からいくつでも選んでください。

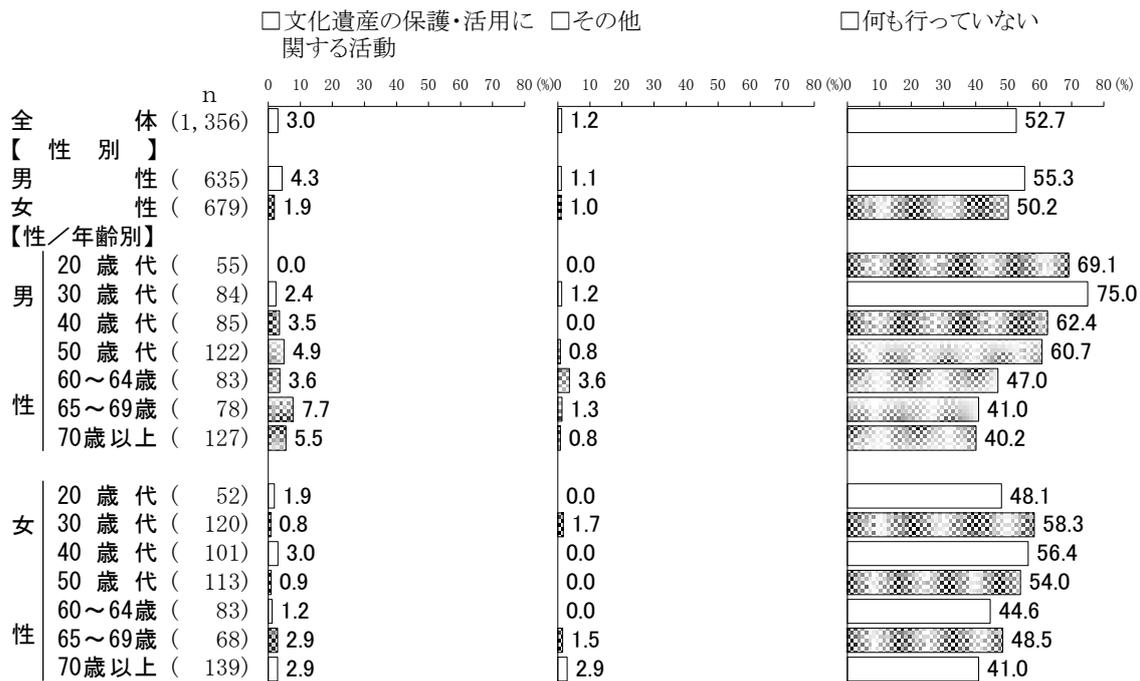
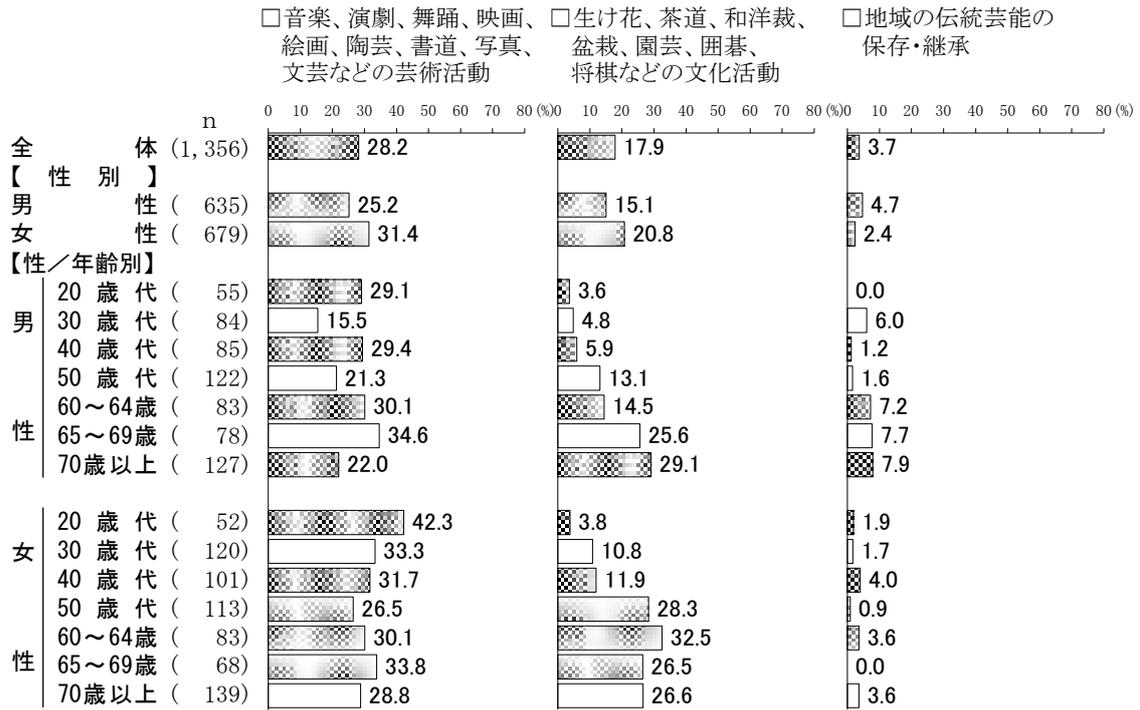
[n=1,356]

1	音楽、演劇、舞踊、映画、絵画、陶芸、書道、写真、文芸などの芸術活動	28.2%
2	生け花、茶道、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動	17.9
3	地域の伝統芸能の保存・継承	3.7
4	文化遺産の保護・活用に関する活動	3.0
5	その他	1.2
6	何も行っていない	52.7
	(無回答)	3.2



全体で見ると、「音楽、演劇、舞踊、映画、絵画、陶芸、書道、写真、文芸などの芸術活動（以下『芸術活動』という。）」(28.2%)が3割近くで、「生け花、茶道、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動（以下『文化活動』という。）」(17.9%)が2割近くとなっている。一方、「何も行っていない」(52.7%)は5割を超えている。

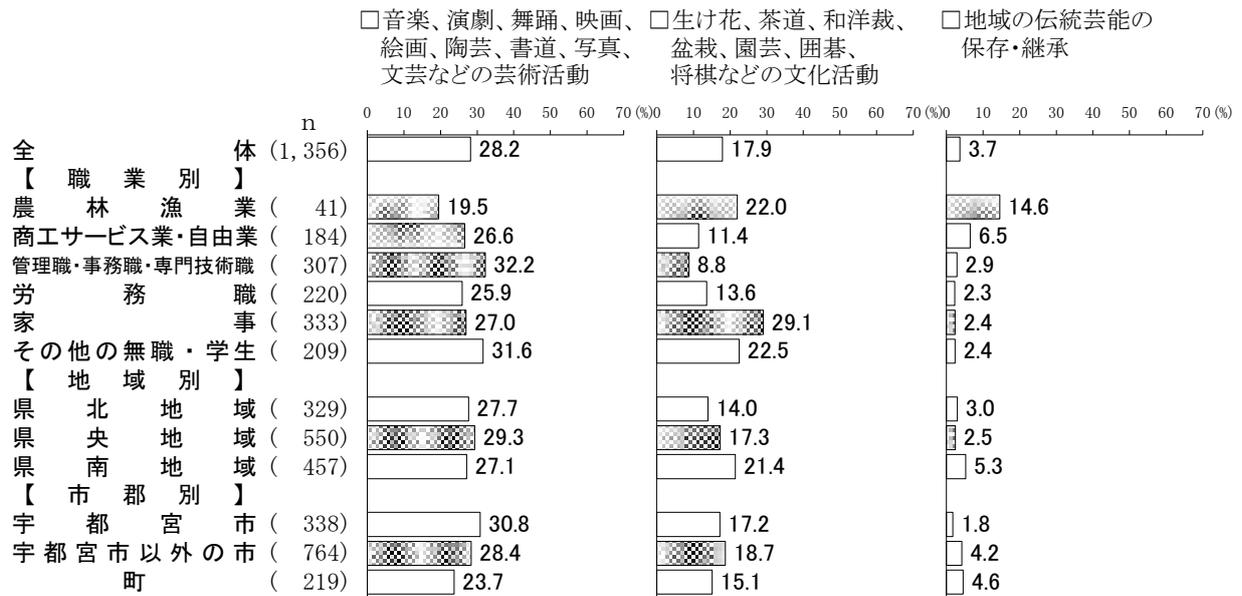
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、『芸術活動』では〈女性〉(31.4%)が〈男性〉(25.2%)より6.2ポイント高く、『文化活動』では〈女性〉(20.8%)が〈男性〉(15.1%)より5.7ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『芸術活動』では〈女性20歳代〉が42.3%で高く、『文化活動』では〈男性の65~69歳以上の各年代〉と〈女性の50歳代以上の各年代〉で割合が高くなっている。

[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、『文化活動』では〈家事〉が29.1%、「地域の伝統芸能の保存・継承」では〈農林漁業〉が14.6%と他の職業に比べて高くなっている。

地域別でみると、『文化活動』では〈県南地域〉が21.4%と他の地域に比べて高くなっている。

市郡別でみると、『芸術活動』では〈宇都宮市〉が30.8%と高くなっている。

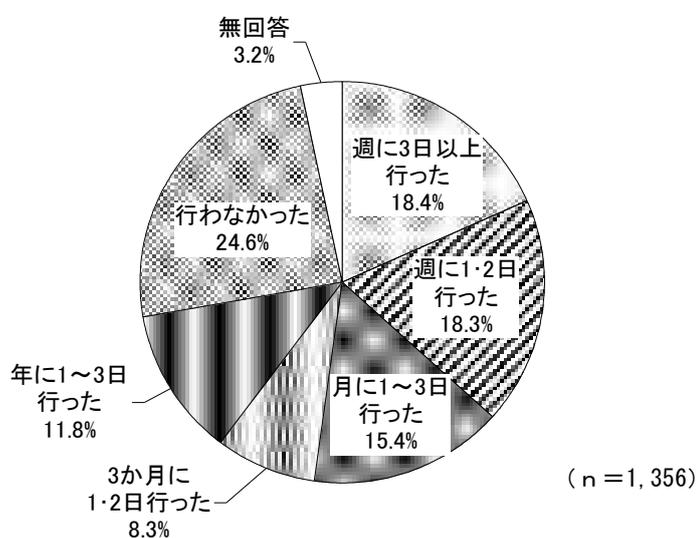
(3) スポーツ活動について

問8 あなたは、この1年間にスポーツ(※)を行いましたか。次の中から1つ選んでください。

※ スポーツとは、ウォーキング、散歩、ダンス、ボウリング、ハイキング・キャンプなどのアウトドアスポーツ、軽い体操、レクリエーションスポーツを含みます。

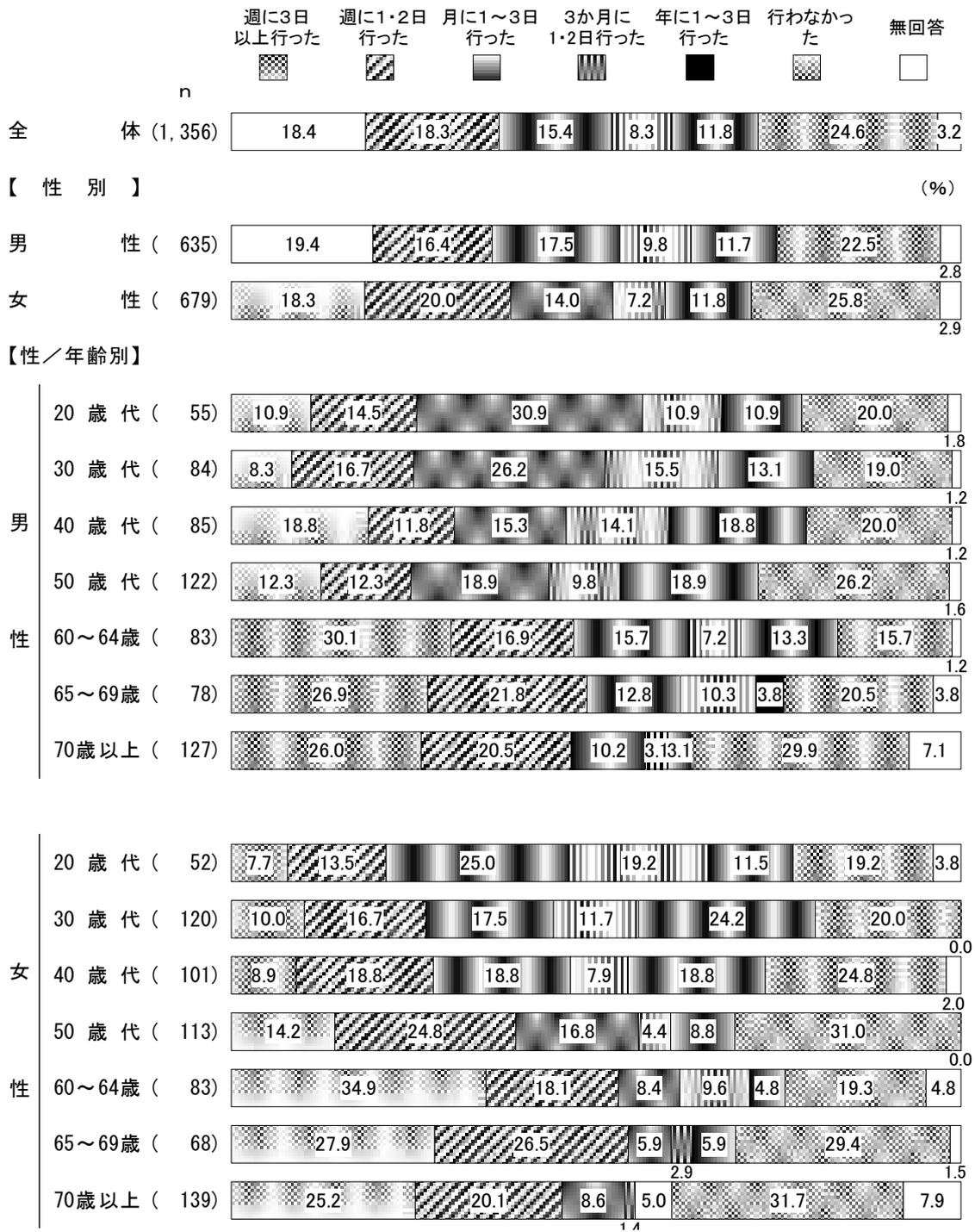
[n=1,356]

1	週に3日以上行った	18.4%	4	3か月に1・2日行った	8.3%
2	週に1・2日行った	18.3%	5	年に1～3日行った	11.8%
3	月に1～3日行った	15.4%	6	行わなかった	24.6%
				(無回答)	3.2%



全体で見ると、「週に3日以上行った」(18.4%)と「週に1・2回行った」(18.3%)がともに2割近く、「月に1～3回行った」(15.4%)は1割半ばとなっている。一方、「行わなかった」(24.6%)は2割半ばとなっている。

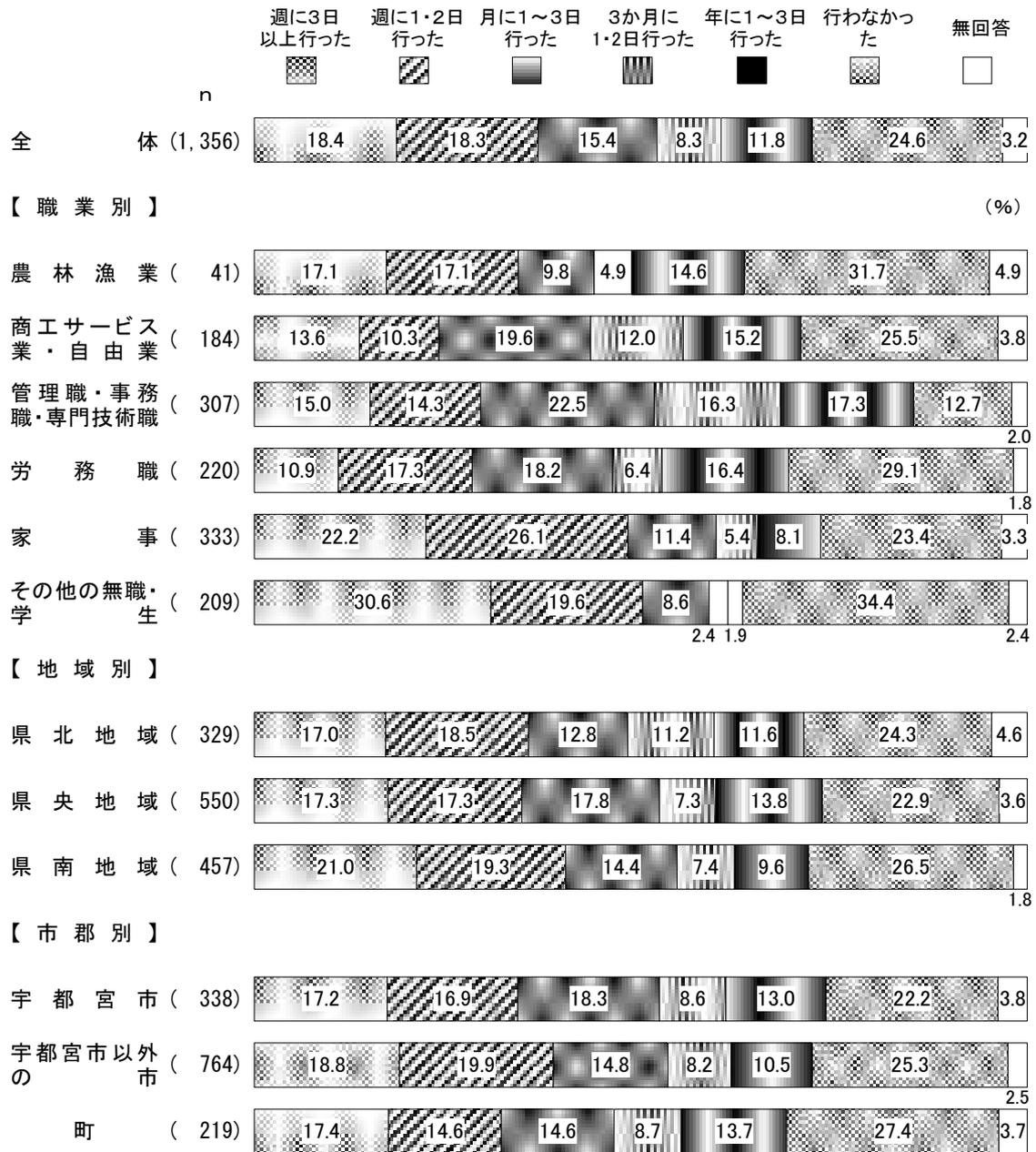
【性別・性／年齢別】



性別で見ると、「行わなかった」では〈女性〉(25.8%)が〈男性〉(22.5%)より3.3ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「週に3日以上行った」では〈女性60～64歳〉が34.9%、〈男性60～64歳〉が30.1%と他の年代に比べて高くなっている。また、〈男女とも60～64歳以上の各年代〉では、〈男女とも50歳代以下の各年代〉に比べてスポーツを行う頻度の高い人の割合が高くなっている。

[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「週に3日以上行った」では〈その他の無職・学生〉が30.6%と高くなっている。また、〈その他の無職・学生〉と〈家事〉で、他の職業に比べてスポーツを行う頻度の高い人の割合が高くなっている。

地域別でみると、「週に3日以上行った」では〈県南地域〉が21.0%と高く、「週に1・2日行った」でも〈県南地域〉が19.3%と他の地域に比べて高くなっている。

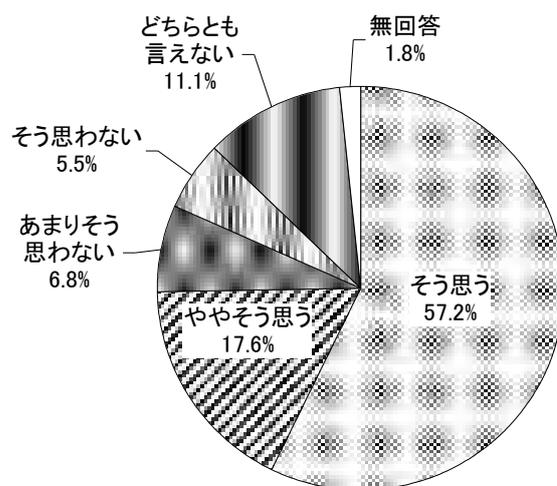
市郡別でみると、「行わなかった」では〈町〉が27.4%と最も高くなっている。

(4) 住んでいる地域について

問9 あなたは、住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思いますか。
次の中から1つ選んでください。

[n=1,356]

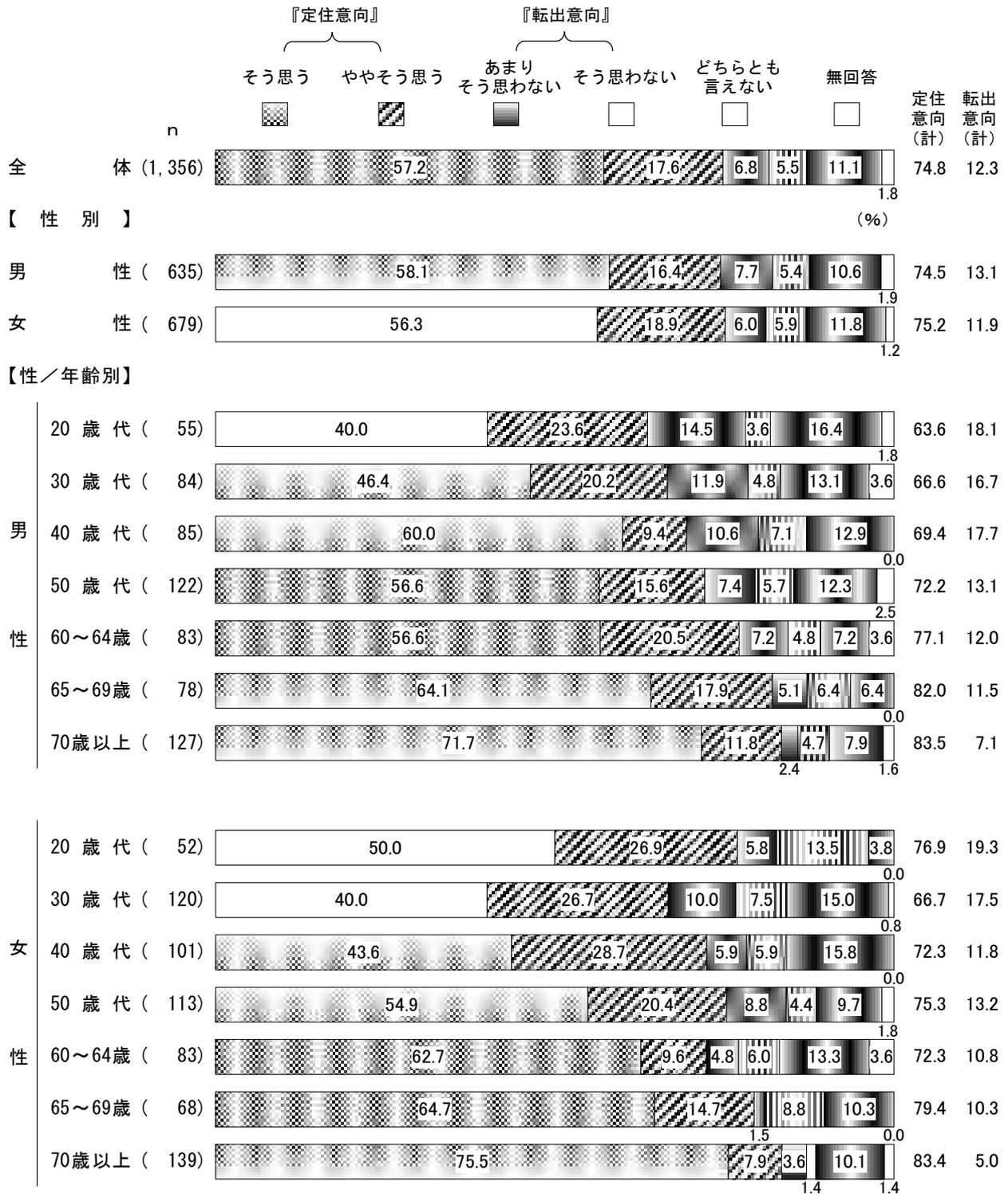
1	そう思う	57.2%	4	そう思わない	5.5%
2	ややそう思う	17.6%	5	どちらとも言えない	11.1%
3	あまりそう思わない	6.8%		(無回答)	1.8%



(n=1,356)

全体でみると、「そう思う」(57.2%)と「ややそう思う」(17.6%)の2つを合わせた『定住意向』(74.8%)は7割半ばとなっている。一方、「あまりそう思わない」(6.8%)と「そう思わない」(5.5%)の2つを合わせた『転出意向』(12.3%)は1割を超えている。

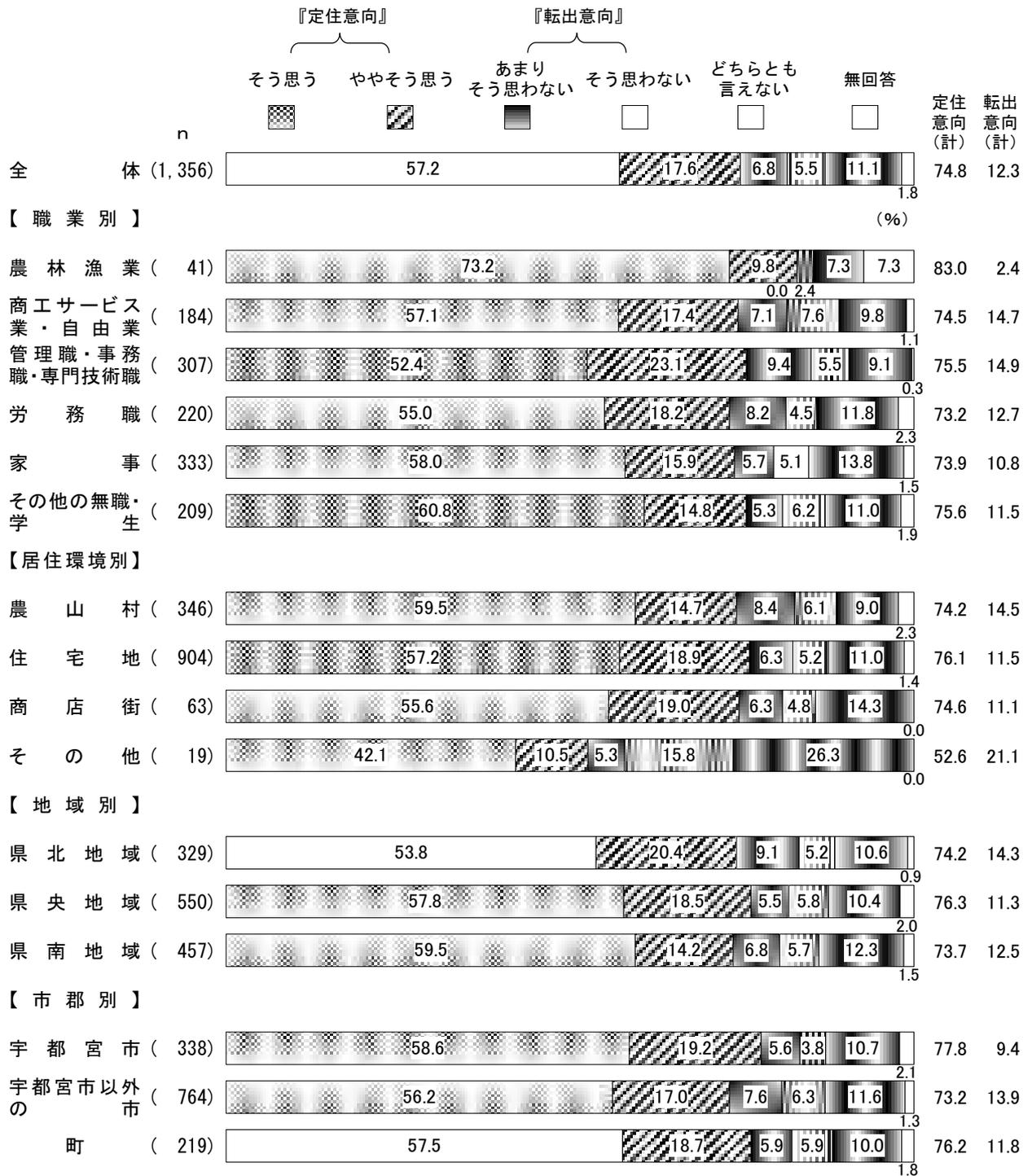
【性別・性／年齢別】



性別でみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

性／年齢別でみると、『定住意向』では〈男性の65~69歳以上の各年代〉と〈女性70歳以上〉が8割を超えて高くなっている。『転出意向』では〈女性20歳代〉(19.3%)が最も高くなっているが、すべての年代で2割未満となっている。

〔職業別・居住環境別・地域別・市郡別〕



職業別でみると、『定住意向』では〈農林漁業〉が83.0%と高くなっている。

居所環境別でみると、〈農山村〉、〈住宅地〉、〈商店街〉の間で大きな傾向の違いはみられない。

地域別でみると、「そう思う」は〈県南地域〉で59.5%と高くなっている。

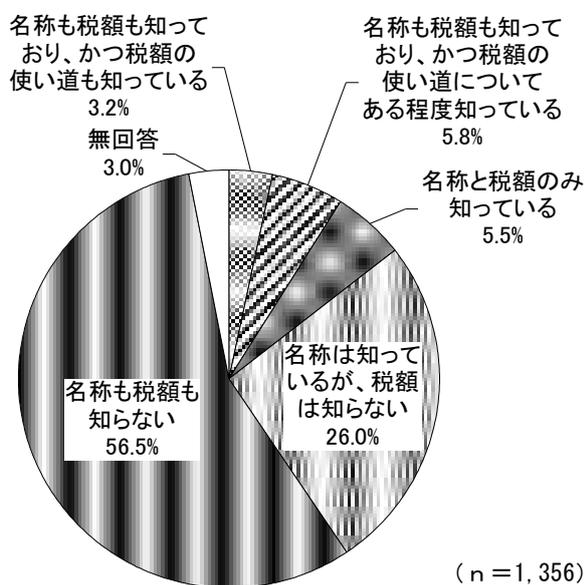
市郡別でみると、ほぼ同じ傾向になっている。

(5) 「とちぎの元気な森づくり県民税」について

問10 あなたは、平成20年4月から本県で導入している「とちぎの元気な森づくり県民税」いわゆる森林環境税を知っていますか。次の中から1つ選んでください。

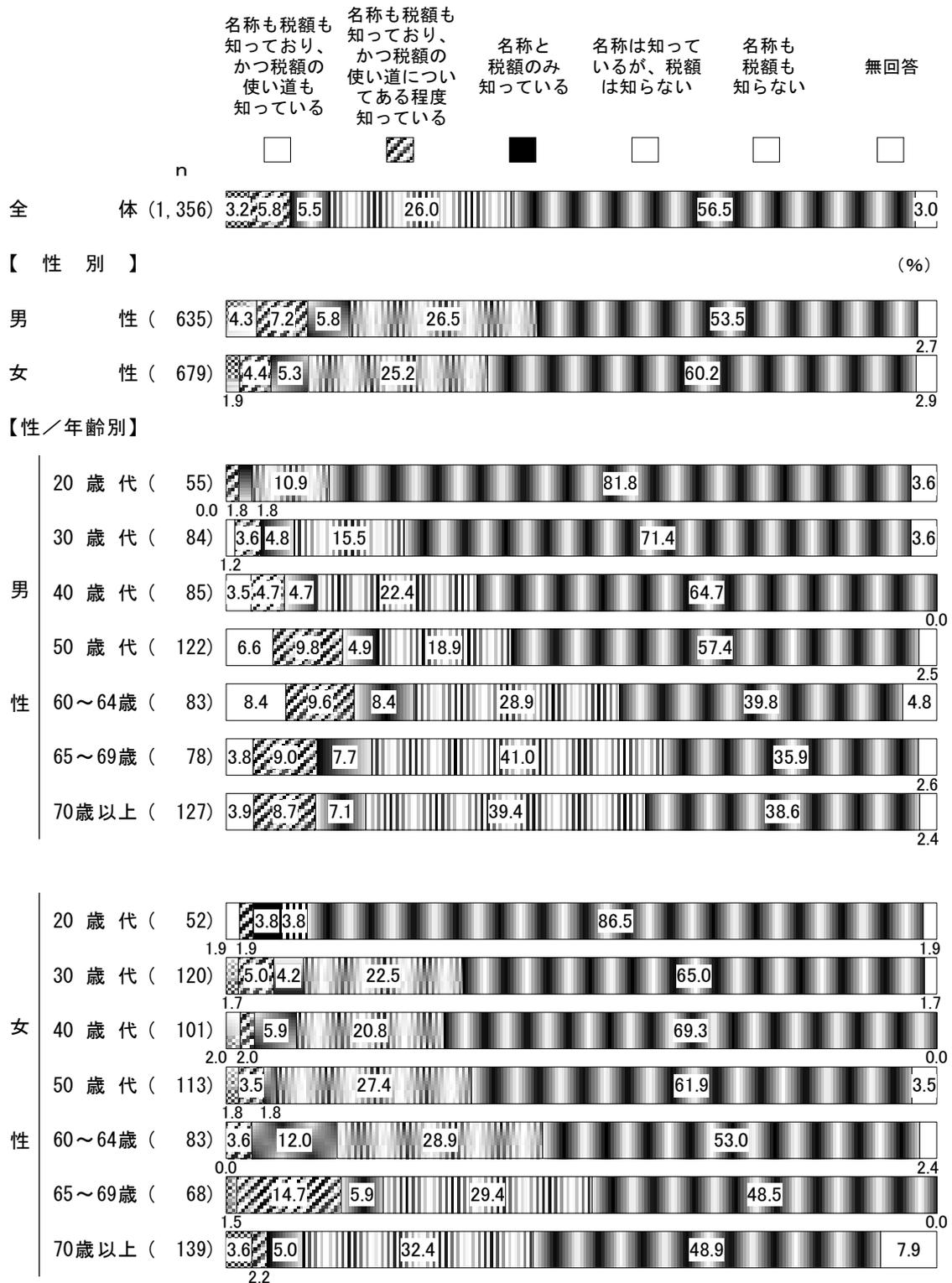
[n=1,356]

1	名称も税額も知っており、かつ税額の使い道も知っている	3.2%
2	名称も税額も知っており、かつ税額の使い道についてある程度知っている	5.8
3	名称と税額のみ知っている	5.5
4	名称は知っているが、税額は知らない	26.0
5	名称も税額も知らない	56.5
	(無回答)	3.0



全体で見ると、「名称は知っているが、税額は知らない」(26.0%)が2割半ばで、「名称も税額も知っており、かつ税額の使い道についてある程度知っている」が5.8%、「名称と税額のみ知っている」が5.5%となっている。一方、「名称も税額も知らない」(56.5%)が5割半ばとなっている。

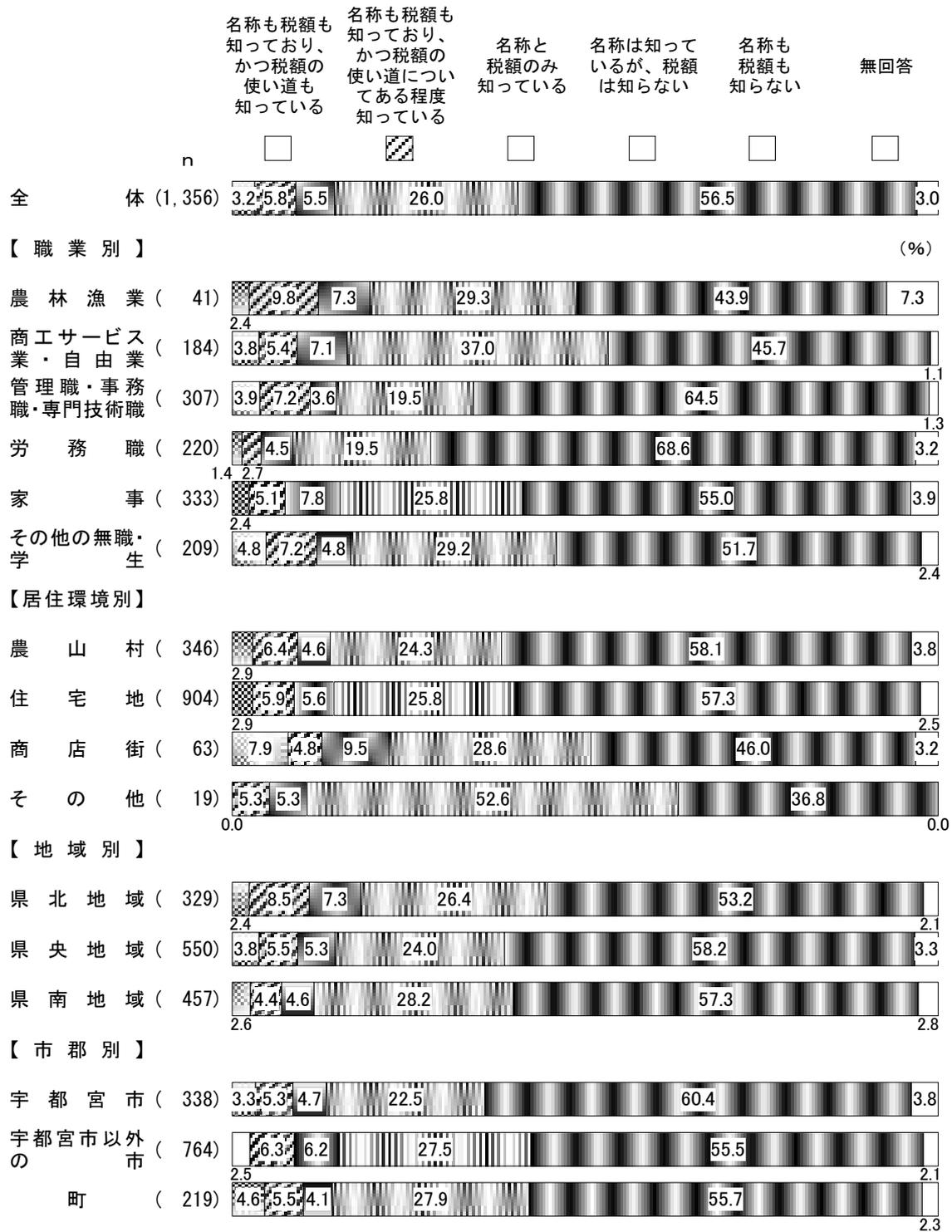
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「名称も税額も知らない」では〈女性〉(60.2%)が〈男性〉(53.5%)より6.7ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「名称も税額も知っており、かつ税額の使い道も知っている」では〈男性60~64歳〉が8.4%で最も高くなっている。一方、「名称も税額も知らない」では〈女性20歳代〉が86.5%、〈男性20歳代〉が81.8%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「名称も税額も知らない」では〈労務職〉が68.6%、〈管理職・事務職・専門技術職〉が64.5%となっている。

居住環境別でみると、「名称も税額も知っており、かつ税額の使い道も知っている」では〈商店街〉が7.9%で高くなっている。

地域別でみると、「名称も税額も知らない」では〈県央地域〉が58.2%、〈県南地域〉が57.3%となっている。

市郡別でみると、「名称も税額も知らない」では〈宇都宮市〉が60.4%となっている。